校長室通信

平成２５年度
第１３号
下野市立南河内第二中学校
発行者　横　島　　清

Ｈ２５．１０．２３

１　後期始業式の話

本日より、平成２５年度の後期に入ります。後期の最初には、最大の学校行事二中祭があります。二中祭は、開校２０周年の今年度、最も力を入れたい行事です。先輩から引き継いだ伝統をもとに、生徒会が中心となり皆さんの手で進化させる場です。また、同時に開催される合唱コンクールも楽しみです。毎日聞こえてくる合唱練習の歌声はとても素敵です。当日は、クラスの心を一つにして、最高の演奏をしましょう。まず、後期のスタートに当たり、学校全体で、二中祭の成功に全力を尽くしましょう。

１年生は、二中での生活が半年過ぎました。二中生としての生活の心構えは身についたでしょうか。半年過ぎて気のゆるみはないですか。初心に戻って、やるべきことをきちんと行いましょう。そして、２年生３年生の良いところを見習い、先輩になる心構えと一人前の中学生になる努力を続けましょう。

２年生は、中学校生活の折り返し点です。すでに夏休み中に部活動は引き継ぎ、新人大会では多くの成果を得ることができました。文武両道を目指す本校の中心となって活動して欲しいと思います。また、２年生は立志式を迎えます。自分を見つめる良い機会です。将来の進路を考えるとともに、自分の良さを、どうしたらみんなのために生かせるか、考え実践して欲しいと思います。

３年生は、最後の二中祭です。自分たちの思いを、自由に表現してください。規律ある中での楽しさを味わいましょう。そして、いよいよ進路決定の時期です。入学試験がありますが、入試は学校をあげて取り組む最大の団体戦です。みんなで連帯感を持って臨むことが大切です。また、中学校生活の集大成として、一人一人が自分を創り上げ、１、２年生を牽引して卒業を迎えてください。

結びに、先日、体操の世界選手権があり、内村航平選手が男子総合で金メダルを獲得し４連覇を達成しました。今回、彼は、技の難易度に加え、演技の美しさを追求しました。インタビューで「美しくなければ体操ではない」という思いを貫いたと言っており、常に最高を目指す姿勢があります。また、総合第２位には、加藤凌平選手が入り、彼は、内村選手という良い手本が身近にあることが良かったと言っています。美しさは理にかなっているということですし、手本は、ああ成りたいという思いから自分で見つけ出すものです。だから、美しさなどよりよい状態を追求することや手本とする師を見つけることは、皆さんの成長につながるとても大切な要素だと思い紹介しました。皆さんの、努力により二中が益々発展することを祈念して式辞といたします。

２　後期学級委員任命

平成２５年度の後期学級委員を本日、任命しました。学級をまとめ、最初の大きな行事である二中祭を成功させましょう。そして、より良い学級を目指しリーダーとして活躍してください。

※各クラスの学級委員の氏名は，配布いたしました校長室通信をご覧下さい。

３　１０月２５日（金）、２６日（土）は二中祭

架け橋～つながろう２０年間の「GIFT」のもとで～　のスローガンもと、生徒たちは、各部門に全員が所属し、創作活動に励んでいます。また、合唱コンクールの練習にも熱が入ってきました。当日は、生徒たちの素晴らしい作品や演技が鑑賞できると確信し楽しみにしています。１０月４日付で配布しました「平成２５年度二中祭のご案内について」のプリントや、２４日に配布されますプログラム等で内容・時刻等をご確認のうえ、ご参加ください。

先生方の週案から

・二中祭の準備が着々と進んでいます。企画部の生徒は、自らしっかり活動できています。当日、感動できる発表ができるように、先生方が先を見てアドバイスしていければ良いと思います。

４　教育実習実施中

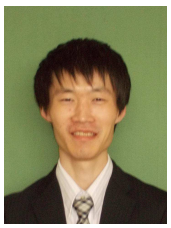
１０月１５日より２週間および３週間の予定で５名の教育実習生がきています。実習授業や二中祭のスタッフとして貴重な戦力となり活動中です。教育実習生からのあいさつを掲載します。

福岡　綾（保体）１年１組所属

私は、平成１９年度に本校を卒業し、現在は保健体育科の教師を目指して勉強しています。私が二中生だった頃を思い返すと、充実した楽しい学校生活の思い出ばかりです。今回、実習生として再び第二中で学ぶことができ嬉しく思っています。７年ぶりの二中では、挨拶ができ明るく元気な生徒さんが多い印象を受けました。生徒のみなさんから元気がもらえるように、私も実習期間で元気を倍返しできるよう頑張ります。先生方、生徒さんよりたくさん学びたいと思いますので宜しくお願いいたします。

伊藤聖奈（音楽）　１年４組所属

桐朋学園大学より、音楽科専攻で３週間、教育実習生として勉強させて頂きます伊藤聖奈です。第二中は私の母校であり、懐かしい校舎に教師の立場として戻って来られたことを嬉しく思うと同時に、自身の学んできた知識を生徒たちにしっかりと教えられる様に精一杯努力致します。第二中の生徒たちは皆、元気で笑顔で、学業に励む素晴らしい子ども達だと思います。私も皆に負けぬよう元気に実習に励み、多くのことをこの第二中学校から学びたいと思っております。３週間、宜しくお願い致します。



稲見　崇（社会）　１年５組所属

宇都宮大学から参りました、教育学部社会教育専攻の稲見崇です。大学では、歴史学を専門に研究しています。初めて南河内第二中学校に来て感じたことは、みんな、あいさつがとても良くできているということです。初日から、たくさんの生徒さんに元気よくあいさつをしてもらい、たくさんの元気をもらいました。私もみんなの元気に負けないよう、２週間ではありますが、がんばっていきたいと思います。よろしくお願いします。

長沼里佳（家庭）　２年５組所属

文教大学４年の長沼里佳です。「学校の先生になる」ことは、中学生の頃からの夢で、この母校で今度は、学校の先生になるための学びができることを本当に嬉しく思います。二中生の第一印象は、よくあいさつができることです。どの生徒も礼儀正しくとても良い雰囲気の学校だと思います。この教育実習では、様々なことを学び、先生方、そして、生徒のみなさんからたくさんのことを吸収していきたいです。三週間という短い期間ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

野間瑞紀（英語）　２年４組所属

みなさんこんにちは。教育実習生として３週間お世話になります野間瑞紀です。専門教科は英語、配属学級は２年４組です。中学・高校とソフトテニスに所属していました。そのため今回の教育実習では、部活動にも積極的に参加していきたいです。また、英語の授業を通して、生徒たちに英語の楽しさを少しでも感じてもらえたら嬉しいです。そして実習全体を通して，生徒たち、先生方と積極的に関わり合い、交流を深めていこうと思います。どうぞよろしくお願いします。

ちょっと嬉しい話

先日、お客様がいらした折、昇降口までお送りしましたところ、足を止められて、「下駄箱の靴が、見事ですね。実にに見事だ」と、感動していらっしゃいました。私も赴任以来感じていたことですが、改めて、お客様からお褒めの言葉をいただくと、とても嬉しく良い気持ちになりました。そして、生徒の皆さんがとても誇らしく思えました。

また、先日のＡＥＤ講習などで格技場を使用するときにも上履きが綺麗に整頓されています。いつでもどこでも履き物をしっかり揃える。当たり前のことですが、このことができているとできないでは、毎日の生活に大きな差ができ、やがては一生の差になります。自分で考えて実践し、良い習慣づけをしましょう。